

- 目的：子どもたち一人ひとりが自らの強みを知り、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの社会を生き抜く力を着実につける。
- 実施日：令和4年4月18日～26日 ※期間内で学校が実施日を決定
- 対象：小学校、義務教育学校前期課程及び支援学校小学部の第5・6学年
- 実施児童数 5年生：67,425人
6年生：68,333人 合計：135,758人
- 内容：5年生：国語、算数、理科、わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート
6年生：わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート
- 児童への資料「ウォッチシート（個人票）」の提供
【記載内容】
 - ・アンケート結果からわかる児童一人ひとりのよいところ
 - ・各教科とわくわく問題（教科横断型問題）の解答状況から見られる、児童一人ひとりのよいところ
 - ・各教科とわくわく問題（教科横断型問題）のすべての問題について、児童一人ひとりの正答状況とそれに合わせたアドバイス

【国語】 小学校5年実施

分類		区分	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域等	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	80.6
		(2) 情報の扱い方に関する事項	84.5
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	40.6
評価の観点	知識・技能		76.8
	思考・判断・表現	話すこと・聞くこと	-
		書くこと	73.8
		読むこと	-

文を読み、指示語の示す内容をとらえることはよくできていたが、主語と述語の関係に注意して、述語を正しく書くことや、ことわざや故事成語の意味を正しく理解することに課題が見られた。

【これからの学習に向けたアドバイス】
★文章を書くときは、考えたことや思ったことを正確に表現できているか、読み返す習慣をつけましょう。
★本を読んだり、言葉の意味を調べたりして、日常生活で使う言葉を豊かにしていきましょう。

【わくわく問題（教科横断型問題）】 小学校5・6年実施

分類		区分	平均正答率 (%)
観点		A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	52.4
		B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	68.5
		C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	79.5
		D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	68.1
		E 興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	82.6
出題内容	問題をとらえる	文章から読み取る	62.2
		会話から読み取る	68.4
		図や表から読み取る	62.3
	伝える	資料の情報を整理して伝える	65.0
		自身で考えたことを伝える 理由や根拠を明確にして伝える	71.7 58.8

良好

- 記事の内容に沿った資料を選ぶこと
- 課題解決に向けて、自分ができることを考え、表現すること
- 自分の考えを自由に書くこと

課題

- 資料の内容を適切に読み取り、考えたことを条件に従って表現すること
- 複数の情報を整理し、読み解くこと
- 情報を観点ごとに分類する時、共通することを見つけ、適切な言葉でまとめること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★問われていることが何なのか、印をつけたり線を引いたりしながら読むようにしましょう。
- ★表やグラフを見るときは、何について表した資料なのか考えるようにしましょう。
- ★情報を分類するときは、共通することやちがいが何かを見つけるようにしましょう。
- ★他の人の意見について、なぜそう思うのかという理由や、考えの根拠となる事柄は何か、考えるようにしましょう。
- ★「気になるな」と思ったことは、本やインターネットで調べたり、周りの人に聞いたりして、自分の興味を広げていきましょう。

【算数】 小学校5年実施

分類		区分	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域		数と計算	38.7
		図形	37.3
		測定／変化と関係	46.2
		データの活用	43.4
評価の観点	知識・技能 思考・判断・表現	知識・技能	42.0
		思考・判断・表現	29.8

示されている情報をもとに必要な時刻を求めることはよくできていたが、数量の関係を式で表すことや、長さや面積について、その求め方や理由を筋道立てて説明することに課題が見られた。

【これからの学習に向けたアドバイス】
★問われた状況を想像し、絵や図などにかいて整理してみましょう。
★自分で立てた式にどんな意味があるのかを言葉で説明してみましょう。

【理科】 小学校5年実施

分類		区分	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域		物質	-
		エネルギー	70.2
		生命	-
		地球	73.8
評価の観点	知識・技能 思考・判断・表現	知識・技能	70.3
		思考・判断・表現	77.3

風の力の大きさとももの動き方の関係について考えることは、よくできていたが、実験器具の使い方を正しく理解することや、直列つなぎの特徴を理解し、そのつなぎ方を図で表現することに課題が見られた。

【これからの学習に向けたアドバイス】
★実験等を行うとき、使用する実験器具は何のために、どのように使うものなのか、確認しましょう。
★現象や状態と、それを表す言葉を結び付けて理解するようにしましょう。

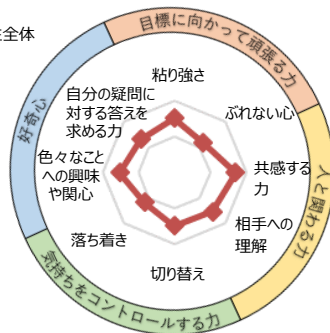
令和4年度小学生すくすくウオッチ結果概要 ～アンケート～

「未来に向かう力」と「好奇心」について

児童の回答状況を集約すると、大阪の子どもたちの全体の傾向として、「共感する力」「相手への理解」という「人と関わる力」が他の力に比べて高いという結果でした。

一方、「目標に向かって頑張る力」のうちの「ぶれない心」や、「気持ちをコントロールする力」のうちの「落ち着き」が、他に比べて低い傾向であるという結果でした。

5・6年生全体



子どもの将来には、テスト等で測ることのできる「学力」の他に、非認知能力が大事です。非認知能力について、大阪府教育庁では、「目標に向かって頑張る力」、「人と関わる力」、「気持ちをコントロールする力」の3つとし「未来に向かう力」(※)として定義しました。また、新たな知識や経験を探る原動力となる「好奇心」も大事と考え、アンケートによりその状況もたずねました。

《参考》(※)『乳幼児期に育みたい！未来に向かう力』リーフレット ダウンロードページ
<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/17339/00355268/hinintitanpe-ji.pdf>

児童アンケート(5・6年生)の結果より

※その他・無回答の数値は示していません

【肯定的な回答が多く見られた項目】

「自分にはよいところがあると思う」



- 1. あてはまる
- 2. どちらかといえば、あてはまる
- 3. どちらかといえば、あてはまらない
- 4. あてはまらない

家の人に褒められることがある



- 1. あてはまる
- 2. どちらかといえば、あてはまる
- 3. どちらかといえば、あてはまらない
- 4. あてはまらない

先生は、あなたのよいところを認めてくれる



- 1. あてはまる
- 2. どちらかといえば、あてはまる
- 3. どちらかといえば、あてはまらない
- 4. あてはまらない

あなたの学級は、友だちが困っているときには助け合う



- 1. あてはまる
- 2. ややあてはまる
- 3. どちらともいえない
- 4. ややあてはまらない
- 5. あてはまらない

人が頑張っているのを見たり聞いたりすると、応援したくなる



- 1. あてはまる
- 2. ややあてはまる
- 3. どちらともいえない
- 4. ややあてはまらない

【課題と考えられる項目】

自分の考えを積極的に発言している



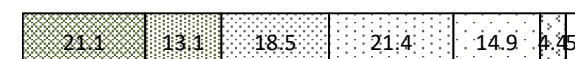
- 1. あてはまる
- 2. どちらかといえば、あてはまる
- 3. どちらかといえば、あてはまらない
- 4. あてはまらない

学級会では、自分たちで意見を出し合って、ものごとを決めている



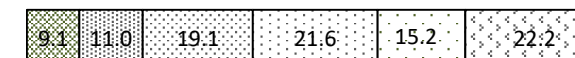
- 1. あてはまる
- 2. ややあてはまる
- 3. どちらともいえない
- 4. ややあてはまらない
- 5. あてはまらない

ふだん(月曜日から金曜日)1日に、およそどれぐらいの時間、学習以外(ゲームやSNS等)にスマートフォンやタブレット等を使っていますか



- 1. 4時間以上
- 2. 3時間以上、4時間より少ない
- 3. 2時間以上、3時間より少ない
- 4. 1時間以上、2時間より少ない
- 5. 1時間より少ない
- 6. 持っているが、全くない
- 7. 持っていない

ふだん(月曜日から金曜日)1日に、およそどれぐらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか



- 1. 2時間以上
- 2. 1時間以上、2時間より少ない
- 3. 30分以上、1時間より少ない
- 4. 10分以上、30分より少ない
- 5. 10分より少ない
- 6. 全くない

今年度の6年生と昨年度(5年生時)との経年比較

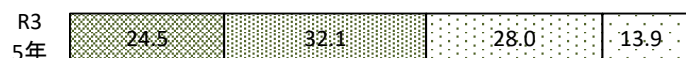
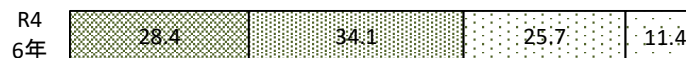
※その他・無回答の数値は示していません

自分の考えをノート等書いている



- 1. あてはまる
- 2. どちらかといえば、あてはまる
- 3. どちらかといえば、あてはまらない
- 4. あてはまらない

話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている



- 1. あてはまる
- 2. どちらかといえば、あてはまる
- 3. どちらかといえば、あてはまらない
- 4. あてはまらない

児童アンケートから、子どもたちが、自分にはよいところがあると思っていたり、家の人に褒められたことがあったり、先生によいところを認めてもらっていることがわかりました。また、学級会で友だちが困っているときには助け合っていることもわかりました。

一方、自分の考えを積極的に発言することや、学級会で自分たちで意見を出し合ったものごとを決めているかについては、肯定的な回答の割合が低い状況です。

また、家での読書時間が少ないこと、スマートフォンやタブレットを学習以外に使っている時間が長いことも課題と考えます。

今年度の6年生の回答と、昨年度の回答とを比べると、自分の考えをノートに書いたり、話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている回答の割合が高くなっており、より考えを深める学習ができてきています。学級会などの場面においても、自分の考えを積極的に発言し議論することで、学習を生活に生かしていくようにしましょう。

- 今回お知らせする結果は、学力や学習状況の一部分であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。
- すくすくウオッチの問題および解答については、以下のURLよりご覧になれます。
 ○ 令和4年度すくすくウオッチ https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/sukusuku/r4_monndai.html